

## 普及職員（水産） A

〔例題1〕 次は、我が国の水産物の食品の表示に関する記述である。各記述中の空欄 a～c に入るものの組合せとして正しいのはどれか。

- ・平成29（2017）年9月に食品表示法に基づく食品表示基準が改正され、輸入品以外の全ての加工食品について、原料原産地名の表示は原則として製品に占める重量割合が上位  の原材料が対象となった。
- ・食品関連事業者が安全性と機能性に関する科学的根拠等を消費者庁長官に届け出れば、食品が含有する成分の機能性を自らの責任で表示することができる  制度がある。この制度では、令和2（2020）年3月現在、生鮮食品の水産物としては2件が届出されている。
- ・資源の持続的利用や環境に配慮して生産された水産物であることを消費者に情報提供する水産エコラベルを活用する動きが世界的に広がりつつある。この水産エコラベルは、 が採択した水産エコラベルガイドラインに沿った取組を指すことが基本である。

	a	b	c
1.	1位	機能性表示食品	FAO
2.	1位	機能性表示食品	WHO
3.	1位	特定保健用食品	WHO
4.	3位まで	機能性表示食品	FAO
5.	3位まで	特定保健用食品	FAO

【正答1】

## 普及職員（水産） A

〔例題2〕 ホッコクアカエビの生態に関する次の文章の空欄ア～エに該当する語の組合せとして妥当なのはどれか。

ホッコクアカエビは雄性先熟の雌雄同体現象を示し、能登半島沖の日本海ではおもに  に雄から雌に性転換する。雌期になった個体は3～4月に産卵し、 の抱卵期間を経てふ化する。

親エビは  し、寿命は  と推定されている。

	ア	イ	ウ	エ
1.	生後5年目	約10ヶ月	隔年産卵	11年以上
2.	生後5年目	約10ヶ月	毎年産卵	10年程度
3.	生後5年目	約8ヶ月	毎年産卵	11年以上
4.	生後4年目	約10ヶ月	隔年産卵	10年程度
5.	生後4年目	約8ヶ月	隔年産卵	8年程度

【正答1】

## 普及職員（水産） A

〔例題3〕 スケトウダラの系群・資源動向に関する次の文章の空欄ア～エに該当する語の組合せとして妥当なのはどれか。

我が国周辺海域のスケトウダラは、資源評価の観点から日本海〔ア〕系群、オホーツク海〔イ〕、根室海峡、太平洋系群の4系群に分けられている。資源動向は2000年代に入り、日本海〔ア〕系群では〔ウ〕傾向で、オホーツク海〔イ〕及び根室海峡は増減を繰り返しており、太平洋系群では安定した状況にある。また、本種は数年単位で発生する〔エ〕年級群によって資源が支えられているため、〔エ〕年級群の発生が期待できる親魚量を常に確保する必要がある。

	ア	イ	ウ	エ
1.	北部	西部	横ばい	卓越
2.	北部	南部	減少	卓越
3.	南部	北部	増加	複数
4.	中部	北部	増加	単一
5.	東部	南部	減少	卓越

【正答2】